

*脳外特有の検査・治療

血管撮影<Angio>

1. 前日 患者準備・物品準備

必要物品：T字帯1枚 和式寝衣

- 1) 患者様に対しては「脳血管撮影を受けられる方へ」の用紙を参照し、前日～検査翌日までの流れを説明
検査の目的や合併症についての医師からのインフォームドコンセント後、検査同意書を得る
- 2) 検査前に造影剤や消毒薬のアレルギーの有無を確認しパス内「検査」欄・感染症・アレルギー・パッチテストの結果・喘息の有無・腎障害の有無、Cre値を記入
(喘息・腎障害ある患者の場合、当日の点滴変更の有無についてDrに確認する)
- 3) 大腿動脈付近の清潔保持と止血テープ貼付のため、局部と大腿の除毛を行う
(剃毛後Ns確認) シャワー浴
- 4) 足背動脈が触知できる部分にマーキングを行う
(触れにくい場合は内頰など別部位でも確認)
- 5) 患者に了解を得て、午前検査の場合、前日より左腕に静脈確保を行う(午後検査の場合、当日日勤が午前中に静脈確保を行う)
- 6) 午前検査の場合は朝食止め。午後検査の場合は朝食は分量摂取可で昼食止めの入力をする
(なお、血管内治療時は朝から食止めで統一する)
安静時間を考慮し昼食または夕食はお握り・一口大の対応食としておく
- 7) 点滴のライン(左手ラインが望ましい)はテルモ輸液ポンプセットまたはシュアプラグテルモ輸液セットにテルモテルフュージョン延長チューブ付三方活栓(5.0cm 3.8ml)を3本接続する
右手の場合は上記にテルモテルフュージョン延長チューブ付三方活栓(5.0cm 3.8ml)を1つ追加し接続する
- 8) 検査室持参のバッグは入院カルテ、外来カルテ、バスタオル、持参指定のある薬剤とその指示書のコピーを用意する
(アミタールテスト時の持参薬(アイオナール Na)は溶解方法を処置オーダーに入力し、コピーを持参する)
- 9) 翌朝内服薬の変更の有無・内服時間をDrに確認
翌日の注射指示の確認

前日深夜帯でストレッチャー準備(※注 スライダーのチャックは足側に。バスタオルを敷く。)
点滴用スタンドをつけておく

2. 当日 患者準備・物品準備

- 1) 排尿方法：女性の場合は必ず膀胱留置カテーテル
(9時出棟検査は深夜勤務者が当日朝留置、AM2番日以降は日勤にて)
男性は尿カテ留置またはウエスタンシース装着
(なお、血管内治療時は、静脈確保は医師が行い、尿路カテーテルは男女とも必ず留置する)
- 2) T字帯・和式寝衣へ更衣 出棟時V/Sを検査欄の空欄へ記入
- 3) ストレッチャーに移乗しDrとともに出棟 申し送り
- 4) 出棟後ベッド周囲環境整備(ベッドに防水シートを敷く・ガーグルベースンやマジックコップなど用意・V/S測定物品、ベッドは一番高くしておくなど)